

## GI キャピタル・マネジメントが大型メガソーラーの実物資産運用事業を本格化

2016年12月05日

GI キャピタル・マネジメント株式会社

GI キャピタル・マネジメント株式会社（以下、「当社」）は、大型メガソーラー発電所のアセット・マネジメント業務を開始し、実物資産運用事業を大幅に拡大する。

当社は、北海道苫小牧市に建設中の苫小牧メガソーラー第一発電所（以下、「苫小牧メガソーラー」）のアセット・マネジメント業務を受託する。苫小牧メガソーラーは、約78ヘクタールの事業用地に38.4MW（メガワット、1MWは1,000kW）の太陽光発電所を建設する計画で、2016年10月に着工した。同発電所の特徴として、出力の変動を緩和・抑制する大型蓄電池を併設しており、蓄電池併設の太陽光発電所として、大手電力を除くと現在建設中もしくは稼働中の蓄電池併設型では国内最大規模となる。同発電所の建設は、発電所および蓄電池管理システムなどの要素技術に優れた富士電機(株)が行い、完工は2018年8月を予定している。

当社は2015年から、開発業者である日本グリーン電力開発株式会社（東京）と共同で、苫小牧メガソーラーの開発に従事してきた。ドイツの独立系資産運用会社であるアキラ・キャピタル（Aquila Capital、以下「アキラ」）のインフラ投資ファンドより資金の提供を受け、さらに建設段階への移行に伴い、みずほ銀行をアレンジャーとするプロジェクト・ファイナンスの組成を行った。当社は、2014年に広島県で操業を開始したメガソーラー発電所のアセット・マネジメント業務を既に受託しており、苫小牧メガソーラーは同業務受託として、2つめの案件となる。

GI キャピタルは、代替投資にフォーカスする証券・資産運用会社として2010年に設立され、海外の革新的な運用商品・ソリューションを日本の投資家に提供してきた。歴史的な低金利、金融資産のリターン低下という厳しい環境のなか、長期的に安定した収益を生む実物資産が本邦投資家の投資運用において果たす役割に着目し、実物資産運用事業の開発にも取り組んできた。当社は、国内外の機関投資家や年金基金を顧客としており、風力発電など新たな分野も視野に、今後も実物資産投資の提案を積極的に行っていく。

### 【お問合せ先】

GI キャピタル・マネジメント株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル3階

電話 03-6256-9500